

2005年3月期 決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2005年 5月12日

株式会社日本製紙グループ本社



I. 2005年3月期 連結決算 (2004年4月1日～2005年3月31日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) 特別損益内訳
- (5) 貸借対照表
- (6) キャッシュ・フロー

II. 2006年3月期 連結業績見通し (2005年4月1日～2006年3月31日)

- (1) 概況
- (2) 業績
- (3) 経常利益増減益要因
- (4) グループの主要指標

紙パ業界

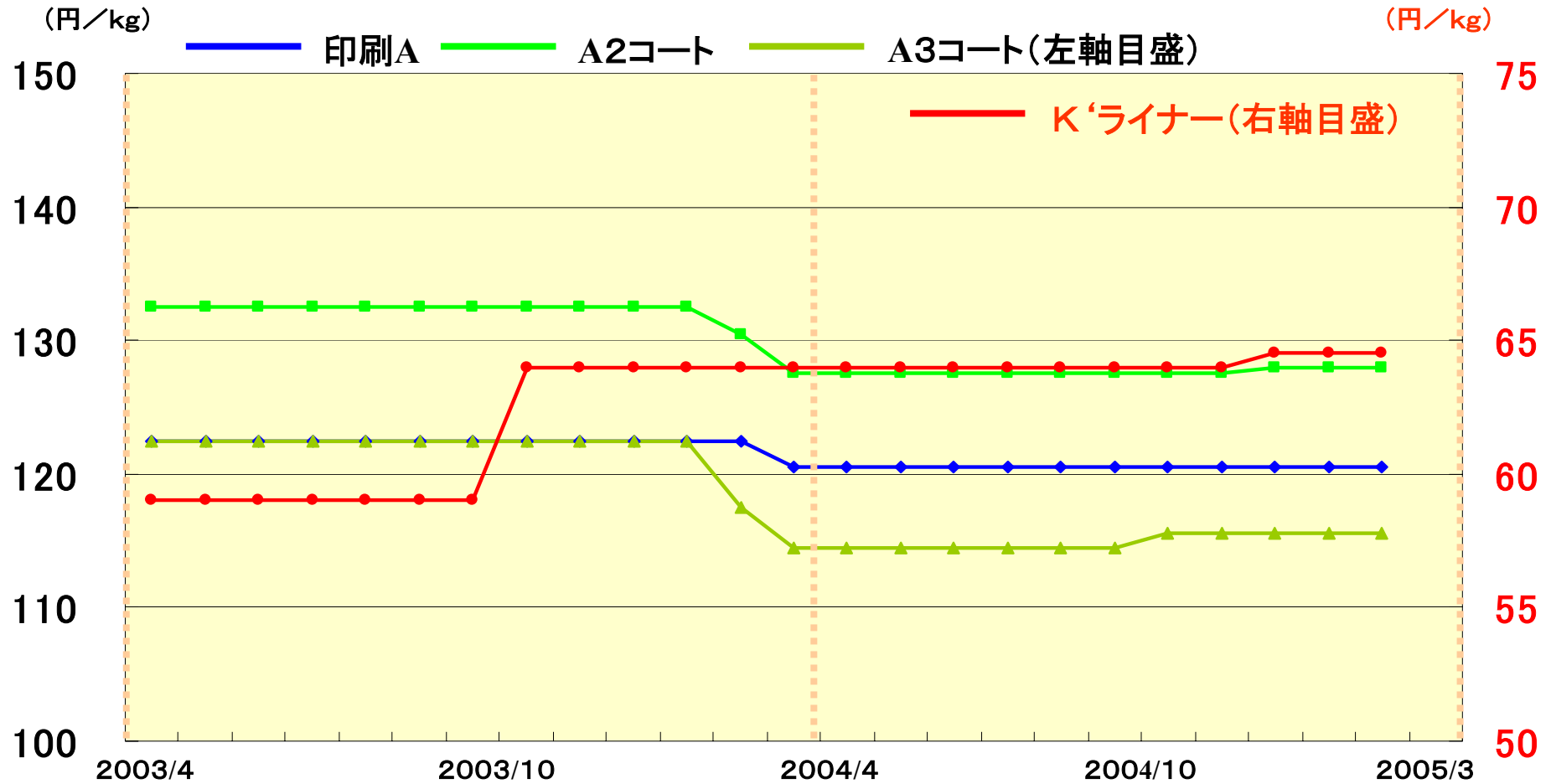
2004年4月－2005年3月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年比
新聞巻取紙	3,449	3.0%
非塗工印刷用紙	2,638	0.9%
塗工印刷用紙 ※	6,244	4.7%
情報用紙	1,581	▲3.1%
その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	3,995	1.0%
紙計	17,907	2.3%
板紙計	11,838	▲0.4%
紙・板紙計	29,746	1.2%

※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所：日本製紙連合会

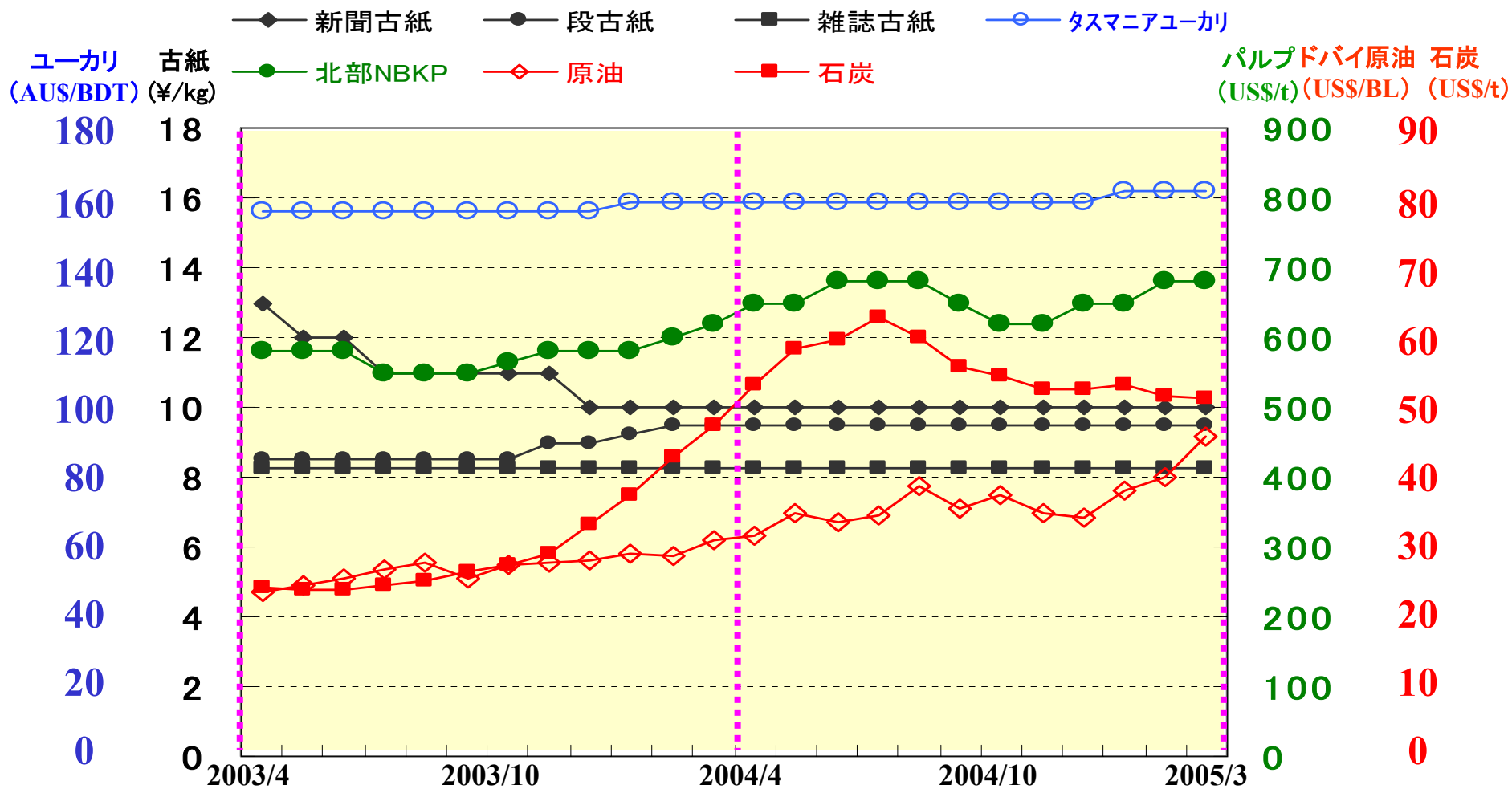
紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2003年4月~2005年3月)



紙パ業界

主要原燃料の価格動向(2003年4月~2005年3月)



出所：古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、
原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

2005年3月期のトピックス

- 2004年 4月 : 三島製紙(株)へ大竹紙業(株)の株式譲渡
- : サンミック千代田(株)と十條商事(株)が合併し、
サンミック商事(株)が発足
- : 日本製紙(株)都島工場跡地の譲渡
- 6月 : 中国現地法人「日紙国際貿易」設立
- 9月 : 世界初の嵩高キャストコート紙「Esprit Coat LOTUS」発売
- 10月 : 持株会社名を「日本製紙グループ本社」に変更
- : 日本製紙機能材料事業本部を日本製紙ケミカルに統合
- : 釧路IPP事業営業運転開始
- 2005年 1月 : 浙江景興日紙が営業運転を開始
- : 十條サーマル社が感熱紙の生産能力増を発表

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	完工 (実績)
日本製紙	勿来	ノーカーボン紙受託生産対策(コーター移設)	24	'04/ 6月
		サーマルリサイクル発電設備設置	38	'04/ 9月
	釧路	電力卸供給設備設置	98	'04/10月

連結業績

(単位:億円)	2004/3	2005/3	差異
<売上高>	11,926	11,797	▲129
<営業利益>	557	652	95
<経常利益>	507	628	121
<当期純利益>	243	244	1

(千トン)	2004/3実績 (A)	2005/3実績 (B)	前年比 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg)※	(107.3)	(105.8)	(▲1.4%)
新聞用紙	1,361	1,358	▲0.2%
非塗工紙	759	760	0.1%
塗工紙	1,845	1,922	4.2%
情報用紙	669	671	0.2%
包装・雑種紙他	650	632	▲2.7%
国内洋紙計	5,284	5,343	1.1%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	503	477	▲5.2%
洋紙合計	5,787	5,820	0.6%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(52.3)	(53.9)	(3.1%)
段ボール原紙	1,423	1,398	▲1.8%
紙器用板紙他	409	409	▲0.1%
国内板紙計	1,832	1,807	▲1.4%
板紙輸出	43	34	▲19.5%
板紙合計	1,875	1,841	▲1.8%
紙・板紙合計	7,661	7,661	▲0.0%

※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

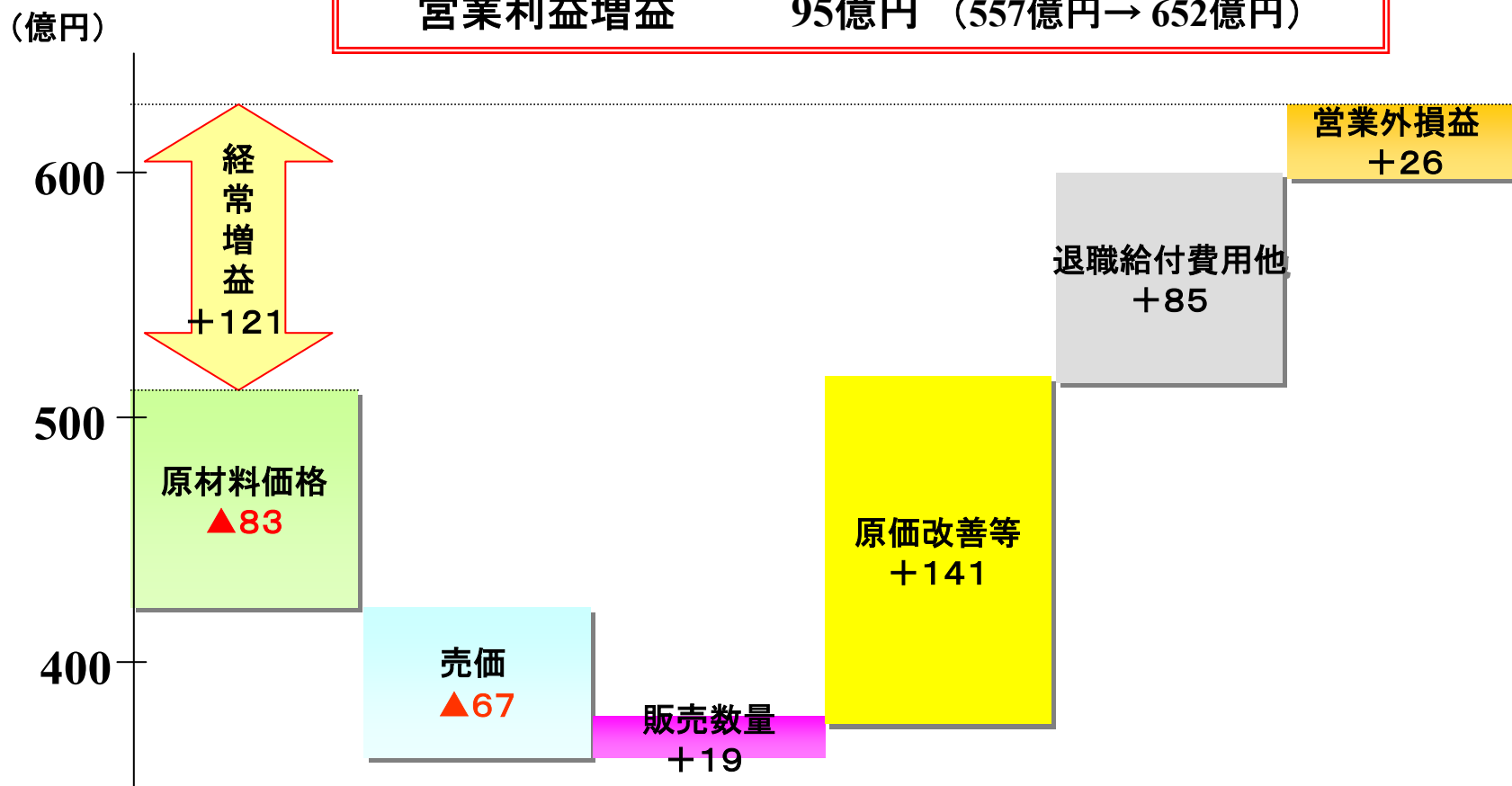
(億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2004/3 実績	2005/3 実績	2004/3 実績	2005/3 実績	
紙パルプ事業	8,901	8,704	414	473	
洋紙他	7,274	7,147	345	422	コストダウン、販売数量増
板紙	996	994	39	70	価格修正が通年寄与
家庭紙	631	563	30	▲ 19	競争激化により価格下落
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	1,237	1,266	50	83	紙容器事業が猛暑効果で増収増益、 段ボール事業のコストダウンも寄与
木材・建材・土木 関連事業	935	952	26	23	
その他の事業 (飲料、物流等)	853	875	67	73	IPP設備稼働、清涼飲料事業好調
合計	11,926	11,797	557	652	

※電力供給事業を「その他の事業」に組み替えて表示

2004/3実績 対 2005/3実績比較

経常利益増益 121億円 (507億円 → 628億円)
 営業利益増益 95億円 (557億円 → 652億円)



	2004/3	2005/3	
経常利益	507	628	(億円)
特別利益	101	221	
固定資産売却益	14	138	
投資有価証券売却益	10	63	
その他	77	20	
特別損失	242	381	
固定資産除却損	51	71	
固定資産売却損	—	24	
貸倒引当金繰入額	13	90	
特別退職金	71	61	
事業再編損失	61	50	
投資有価証券売却損	—	33	
その他	46	52	
税金費用	▲109	▲210	
少数株主利益	▲14	▲14	
当期純利益	243	244	

(億円)

貸借対照表

	'04/3末	'05/3末	差異	コメント
現預金	218	183	▲ 35	
受取手形・売掛金	2,608	2,479	▲ 129	
棚卸資産	1,346	1,318	▲ 28	
その他流動資産	594	451	▲ 143	
有形・無形固定資産	9,445	8,856	▲ 589	設備投資554億、減価償却750億 他
投資その他資産	2,162	2,012	▲ 150	
資産計	16,374	15,300	▲ 1,074	
有利子負債	8,423	7,661	▲ 761	'06/3末(計画)6,965億
その他負債	3,429	2,973	▲ 456	
少数株主持分	226	236	10	
株主資本	4,296	4,429	133	

(単位:億円)

項目	2004/3	2005/3	増減	コメント
営業活動によるCF	871	1,082	211	
税金等調整前当期純利益	365	468	① 103	① 税前利益 28%増加
減価償却費・連調償却	836	770	▲ 66	
運転資金増減	② ▲ 348	57	405	② 2004/3期:支払サイト短縮影響
その他	18	▲ 213	▲ 231	
投資活動によるCF	▲ 727	▲ 261	466	
固定資産取得	▲ 663	③ ▲ 567	96	③ 設備投資を厳選し、支出を抑制
固定資産の売却	24	④ 176	152	④ 日本製紙(株)都島工場跡地売却等
その他	▲ 87	130	217	
フリーCF	144	821	677	
財務活動によるCF	▲ 288	▲ 860	▲ 572	
有利子負債増減	▲ 139	⑤ ▲ 752	▲ 613	⑤ 有利子負債削減を推進
支払配当金	▲ 135	▲ 91	45	
その他	▲ 14	▲ 18	▲ 4	
連結範囲変更・為替換算差等	8	5	▲ 3	
現金及び現金同等物残高	216	182	▲ 34	

2006年3月期のトピックス

2005年 4月 : 日本製紙が鈴川工場と富士工場を統合
 (新名称 : 日本製紙富士工場)
 : 中国華北における洋紙合弁事業から撤退を決定

10月 : 日板パッケージ(株)とトーカンパッケージングシステム(株)
 (東罐興業(株)子会社)が合併予定

来年度初頭 第2次中期経営計画発表予定

会社	事業所	主要設備投資	投資 (億円)	運転開始 (見込)
日本製紙	岩沼	H-DIPライン増設	18	'05/ 4月
		新聞用紙高品質(中性紙)化対応	15	'05/ 9月
	石巻	N5マシン嵩高紙抄造対応及び品質対策	36	'05/ 9月

● II. 業績見通し (2) 業績①前提条件

1. 販売見通し(国内)

- 洋紙: ①数量=内需に応じた増加 ②価格=価格維持を優先
- 板紙: ①数量=内需に応じた増加 ②価格=価格維持を優先

2. 原燃料価格見通し

- 石炭:  上昇
- チップ:  上昇
- C重油:  上昇
- パルプ:  横ばい
- 古紙:  横ばい

外部環境

- 内需 : 紙 +0.5%
板紙 +0.3%
(日本製紙連合会暦年見通し)
- 為替 : 1US\$ = 107円
1AU\$ = 82円

日本製紙グループ^o連結業績見通し

(単位:億円)	2005年3月期 実績	2006年3月期 見通し	差異
<売上高>	11,797	11,800	3
<営業利益>	652	710	58
<経常利益>	628	700	72
<当期純利益>	244	210	▲34

(千トン)	2005/3実績 (A)	2006/3見通し (B)	前年比 (B) ÷ (A)
(国内洋紙平均価格: 円/kg)※	(105.8)	(106.7)	(0.9%)
新聞用紙	1,358	1,370	0.8%
非塗工紙	760	747	▲1.7%
塗工紙	1,922	1,968	2.4%
情報用紙	671	694	3.5%
包装・雑種紙他	632	599	▲5.3%
国内洋紙計	5,343	5,377	0.6%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	477	474	▲0.5%
洋紙合計	5,820	5,851	0.5%
(国内板紙平均価格: 円/kg)	(53.9)	(53.8)	(▲0.2%)
段ボール原紙	1,398	1,410	0.9%
紙器用板紙他	409	412	0.8%
国内板紙計	1,807	1,822	0.9%
板紙輸出	34	37	7.0%
板紙合計	1,841	1,859	1.0%
紙・板紙合計	7,661	7,710	0.6%

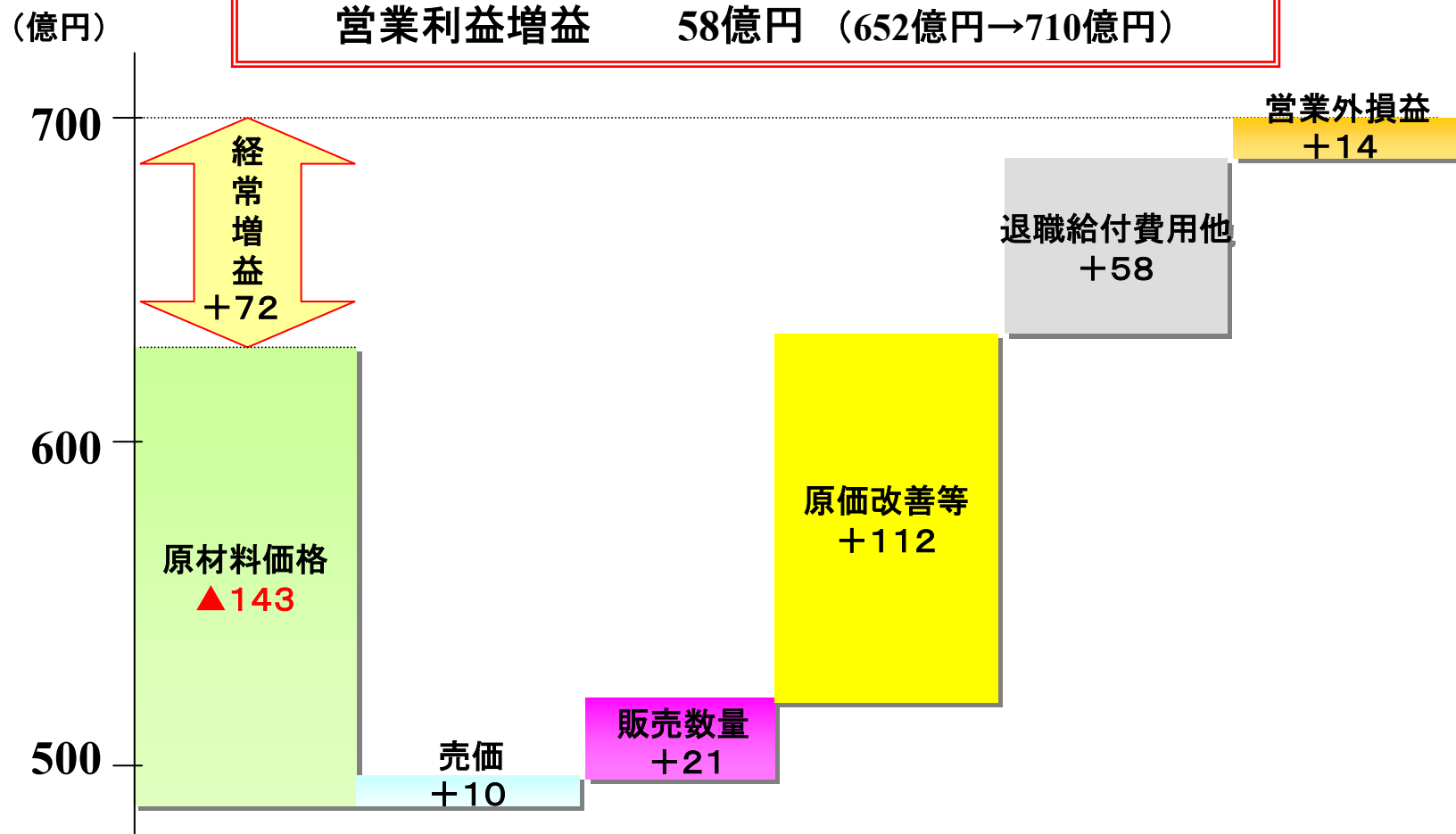
※国内洋紙平均価格には新聞用紙を含まない。

(億円)

	売上高		営業利益		コメント
	2005/3 実績	2006/3 見込み	2005/3 実績	2006/3 見込み	
紙パルプ事業	8,704	8,777	473	525	
洋紙他	7,147	7,204	422	454	コストダウン、販売数量増
板紙	994	1,001	70	78	価格を維持し、コストダウンで増益
家庭紙	563	572	▲ 19	▲ 7	コストダウン強化
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	1,266	1,177	83	84	
木材・建材・土木 関連事業	952	970	23	29	
その他の事業 (飲料、物流等)	875	876	73	72	
合計	11,797	11,800	652	710	

2005/3実績 対 2006/3見通し比較

経常利益増益 72億円 (628億円 → 700億円)
 営業利益増益 58億円 (652億円 → 710億円)



	03/3月期 実績	04/3月期 実績	05/3月期 実績	06/3月期 見通し
ROE:株主資本当期純利益率	1.2%	5.8%	5.6%	4.7%
売上高経常利益率	3.4%	4.2%	5.3%	5.9%
D/Eレシオ:負債資本比率	2.0倍	1.9倍	1.7倍	1.5倍
洋紙稼働率(暦日数)	86%	87%	91%	91%
板紙稼働率(暦日数)	79%	85%	87%	88%
設備投資額(億円)	769	574	554	583
減価償却費(億円)	832	813	750	713
有利子負債残高(億円)	8,513	8,423	7,661	6,965
正規従業員数(人)	15,662	14,987	13,774	12,998

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社